

貧酸素水塊速報 (2019年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 ○ 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 東京都環境局
 ○ (国) 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和元年6月17～18日観測結果

先週湾奥で発生した青潮は、6月13日までに解消しました。

6月16日の強い南西風の影響で、貧酸素水塊は南西方向へ移動し、内湾中央部付近に分布しています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布から、風の塔北におけるDO 2.5mL/L以下の水塊の厚みは5m以上あり、規模は約16%と拡大傾向です。(図2, 3)。

水温は表層19～20℃、底層17～20℃です。

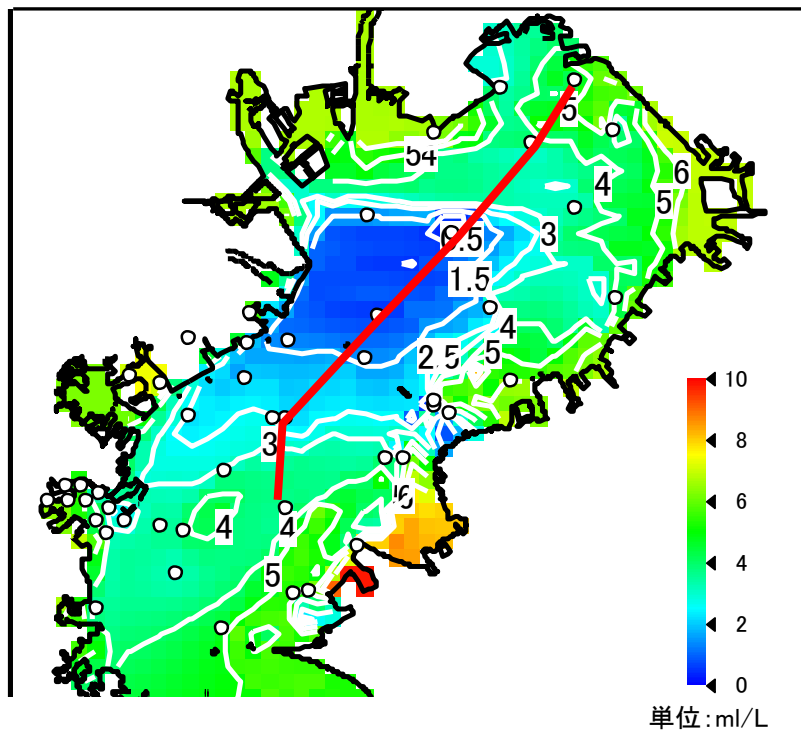


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

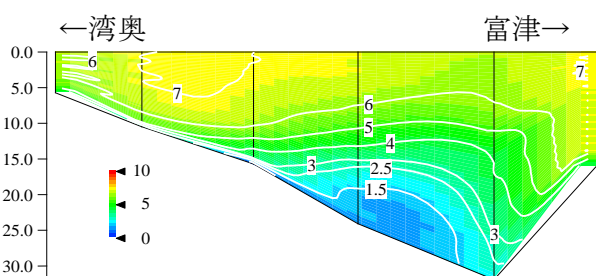


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

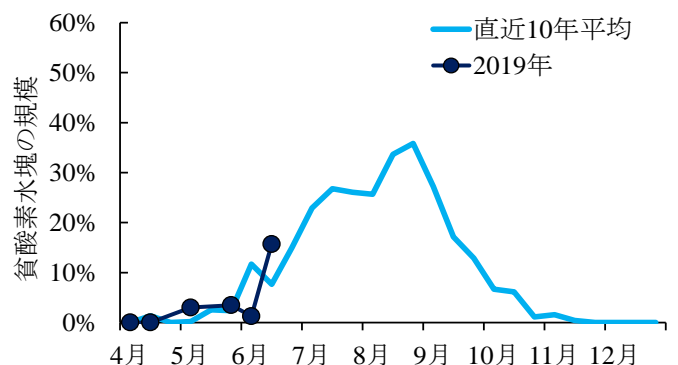


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)